



「患者サービス向上委員会」の取組としてセタコンサートを開催しました

Topics

- 診療科紹介 泌尿器科
- サポート高松トライアスロンに医療救護担当として参加しました
- 令和6年度「ふれあい看護体験」を開催しました
- 地域医療連携カンファレンス 開催報告
- カンボジア医療従事者の研修を受け入れました

診療科紹介

泌尿器科

診療内容

当院泌尿器科では、次のような幅広い疾患に対して治療を行っています。

- ・ 尿路性器悪性腫瘍（前立腺癌、腎癌、膀胱癌など）
- ・ 前立腺肥大症
- ・ 過活動膀胱
- ・ 尿失禁
- ・ 尿路性器感染症
- ・ 尿路結石症
- ・ 腎機能障害
- ・ 透析関連疾患



特に最近では低侵襲手術に力を入れており、2021年4月には手術支援ロボットを導入しました。また、前立腺肥大症や尿路結石に対するレーザー手術も積極的に行っています。泌尿器疾患は高齢者に多く、合併症のリスクも高いため、他科とも連携を取りながら一人一人の患者さんに合わせた丁寧な治療を心がけています。

診療体制

泌尿器科は現在、常勤医師4名（うち3名が泌尿器科指導医・透析指導医）の体制で診療を行っています。外来診療は以下の通りです。

- ・ 月～金の午前中（月曜日のみ午後2～4時も対応：予約制）
- ・ 再診は予約制
- ・ 尿流動態検査は月曜日の午後実施

急ぎの診療が必要な場合は、当日の新患紹介にも可能な限り対応いたしますので、泌尿器科外来までお気軽にご連絡ください。



手術について

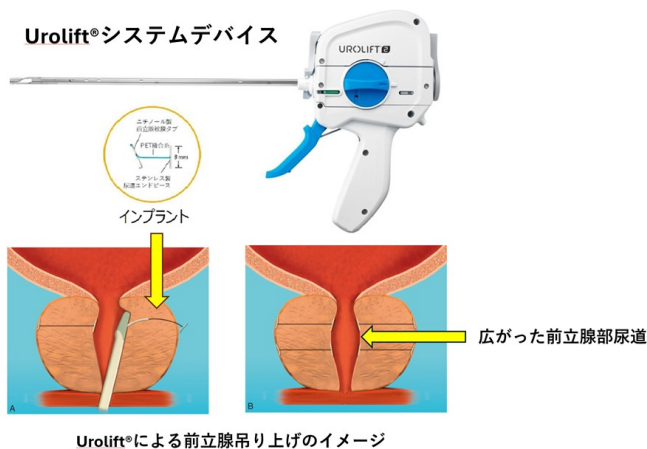
当院では、3名の医師が手術支援ロボット da Vinci Xi certificateを取得しており、その内2名が尿器ロボット支援手術プロクター認定を得ていますので、最新の泌尿器ロボット手術が行える体制となっています。これにより、前立腺癌、腎癌、腎盂癌、尿管癌、副腎腫瘍などに対する高度なロボット支援手術が可能となっております。

手術支援ロボット da Vinci Xi® サージカルシステム



また、前立腺肥大症に対するHoLEP（経尿道的前立腺レーザー核出術）やUrolift®（前立腺吊り上げ術）、軟性尿管鏡を用いたレーザー碎石術（FTUL）や細径腎盂鏡を用いた経皮的腎結石碎石術（miniPNL）を併用するECIRSなど、最新の低侵襲治療も積極的に導入しています。

Urolift®システムデバイス



Urolift®による前立腺吊り上げのイメージ

膀胱癌に対しては、光力学診断を用いたPDD-TURBT（光力学診断を用いた経尿道的膀胱腫瘍切除術）を施行しており、これにより腫瘍の早期発見と質の高い治療が可能となっております。

透析施設の患者さんのシャントトラブルについても、即日対応できる体制を整えており、急なトラブルにも迅速に対応することができます。

ご相談の際は

排尿障害、尿潜血陽性、肉眼的血尿、尿路結石による痛み、PSA高値などでお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、どうぞお気軽に当科にご相談ください。患者さん一人一人の状態に合わせた最適な治療を提供できるよう、スタッフ一同、全力でサポートさせていただきます。また、地域の医療機関とも連携を図り、患者さんが安心して治療を受けられる環境を整えております。当院泌尿器科は、常に最新の医療技術と知識をもとに、患者さんに最適な治療を提供することを目指しています。今後とも、地域の皆さまの健康を守るために努力してまいりますので、何かご不明な点やご相談がございましたら、どうぞお気軽にお問い合わせください。

（文責 森 英恭）

外来担当表

	月	火	水	木	金
午前 8~11時	小森 政嗣	大森 正志 (再診・再来予約のみ)	森 英恭	小森 政嗣	安宅 真利花
	森 英恭				
午後 13~16時	小森 政嗣	検査・手術			

サンポート高松トライアスロンに医療救護担当として参加しました



去る7月7日（日）、「サンポート高松トライアスロン2024」が開催され、当院の医師、看護師、臨床工学技士が医療救護担当として参加しました。

9月開催だった昨年とは違い、スイムでクラゲに刺される選手はいなかったものの、熱中症や、転倒により負傷された方たちなどの処置に当たりました。

また、今回は、徳島文理大学保健福祉学部臨床工学科の実習生3名も救護に当たりました。

幸い大きな事故もなく、無事大会を終えることができました。

これからも、当院は様々な場面で地域医療を支えてまいります。



令和6年度「ふれあい看護体験」を開催しました

6月15日に当院にて、「さあ、看護の未来を、みつけにいこう。」をメインテーマに「ふれあい看護体験」を開催しました。今年度は元気あふれる小学生から高校生までの9名での実施になりました。

看護局長の挨拶では、「ナイチンゲール」や「忘れられない看護体験」のエピソードをもとに、看護師の厳しさや、やりがいについてお話しし、参加者は真剣な表情で聞いていました。

手術室やER・新生児室などの病院見学や、新生児の人形を用いての身体測定、救命処置、ガウンテクニック(感染から患者や医療者を守るための技術)を行い手術器材に触れるなど、様々な体験をしてもらいました。

参加者の皆さんは、初めは緊張した面持ちでしたが、体験が進むにつれて少しずつリラックスした様子で笑顔を見せてくれました。好天に恵まれ、屋上ヘリポートで



の記念撮影も行え、病院周辺を一望できる眺めと救急医療の現場の空気感を体感してもらいました。

最後に、看護局長から一人一人に受講終了証を手渡し、「楽しかった」

「病院でたくさんの体験ができた」などの感想や、看護師への興味を持つ機会となったという言葉聞くことができました。

今後、さらに内容を充実させて、楽しく看護体験ができるよう取り組みたいと考えています。

地域医療連携カンファレンス 開催報告

2024年7月11日（木）、「第12回 高松市立みんなの病院地域連携カンファレンス」を当院みんなのホールにて開催しました。

一般講演として、当院産婦人科の徳井貴子医長が『婦人科急性腹症の初期対応』の演題で講演を行った後、特別講演として、当院産婦人科の山下瑞穂総括部長が『生殖医療のトピックス』、加藤剛志院長補佐が『婦人科内視鏡手術の取り組み』の演題で、それぞれ講演を行いました。

地域医療機関の先生方だけでなく、看護師、助産師、ケアマネージャー、MSW(医療ソーシャルワーカー)など、多職種の皆さまにご参加いただき、大変充実した講演会となりました。

ご多忙のところ多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。

今後とも、地域医療連携カンファレンスを継続して開催してまいりますので、よろしくお願いいたします。



カンボジア医療従事者の研修を受け入れました

令和6年7月2日、JICA草の根技術協力事業（高松市提携）としてカンボジアから医師3名、看護師4名、合計7名の研修員の視察（施設見学）を受け入れました。

視察当日、研修員は母国の救急医療に役立てようと、みんなの病院における救急医療体制や救急患者受入対応について、真剣な表情で学んでいました。


当院の様々な医療活動が、カンボジアの救急医療の発展に貢献できればと思います。



FAX予約を お願いします



患者さんをご紹介いただく際に、地域医療・患者支援センターへ事前にFAX予約をお願いいたします。

受付時間	平日(月～金) 8時30分～18時00分 土曜日 9時30分～13時00分 ※土曜日はFAX予約受付のみ
電話	(087)813-7171(代表) / (087)813-6699(紹介予約専用)
FAX	(087)813-6799(直通) 0120-834-224(フリーダイヤル ) ※フリーダイヤルは県内固定電話のみ対応しております。